

4. 県内の医療体制

(1) がん診療連携拠点病院および地域がん診療病院

■ がん診療連携拠点病院

全国どこに住んでいても、がんの状態に応じて適切ながん医療が受けられるように設置された病院です。以下の項目を推進しています。

- ① 専門的ながん診療
- ② 専門的な知識や技能を持つ医師の配置
- ③ 地域の医療機関や医師との連携と協力体制の整備
- ④ 患者さんへの相談支援と情報提供
- ⑤ がん登録など、質の高いがん医療

■ 地域がん診療病院

がん診療連携拠点病院がない医療圏に、都道府県の推薦をもとに国が指定した病院です。拠点病院と連携しつつ、専門的ながん医療の提供、相談支援や情報提供を行っています。

(2) がん診療を行っている医療機関

沖縄県医療計画では、国の指定を受けたがん診療連携拠点病院をはじめ、手術療法、化学療法または放射線療法を組み合わせた集学的治療等を実施する医療機関を掲載していますので、沖縄県ホームページをご覧ください。



沖縄県医療計画

<http://www.pref.okinawa.jp/site/hoken/iryoseisaku/kikaku/iryouseisaku.html>

※その他のがんの専門施設については、
がん相談支援センターにお問い合わせください。 ➡P12

コチラもCheck!

- ➡P76 「療養生活を支える仕組みを知る」
- ➡P77 「地域のがん診療の連携の仕組みを知っておく」



(3) 希少がん和小児がんの診療病院

希少がんとは、発生の稀ながん全体を示す言葉です。診療や研究の体制が不十分なため、沖縄県内では、希少がんの診療経験が豊富な琉球大学医学部附属病院、那覇市立病院、沖縄県立中部病院での診察が推奨されます。希少がんの詳細な情報に関しては、国立がん研究センター希少がんセンターのサイトをご覧ください。

小児がんは0歳から15歳までの小児がかかるがんの総称です。大人のがんに比べて、患者の数が少なく、こちらも診断や治療の経験が豊富な医療機関での診療が推奨されます。沖縄県内では琉球大学医学部附属病院と沖縄県立こども医療センターがその医療機関にあたります。診療所を含むどこの小児科で最初の診断がされても、前述の2つの病院に紹介されることが確立されていますので、ご安心ください。

国立がん研究センター希少がんセンター ➡P27
国立がん研究センター小児がん情報サービス ➡P27



おきなわ がん情報ネット みるん・しるん

<http://mirunshirun.jp/>

沖縄県でがんを診ている17病院のがん治療の状況を、グラフや表で見ることができます。

いったーあんまー まーかいがー
べーべーぬ 草刈いがー
べーべーぬ まさ草や
(いったーあんまー まーかいがー)



(4)がん診療を行っている沖縄県内の医療機関

病院名	肺がん	胃がん	肝がん	大腸がん	乳がん	子宮がん	小児がん	その他のがん	放射線療法
県がん診療連携拠点病院									
琉球大学医学部 附属病院	○	○	○	○	○	○	○	○	○
地域がん診療連携拠点病院									
沖縄県立中部病院	○	○	○	○	○	○	—	○	○
那覇市立病院	○	○	○	○	○	○	—	○	○
地域がん診療病院									
北部地区医師会病院	—	○	○	○	○	—	—	○	—
沖縄県立宮古病院	○	○	○	○	○	—	—	○	—
沖縄県立八重山病院	○	○	○	○	○	○	—	○	—
その他									
中部徳洲会病院	○	○	○	○	○	—	—	○	—
中頭病院	○	○	○	○	○	○	—	○	○
ハートライフ病院	—	○	○	○	○	○	—	○	—
沖縄病院	○	○	—	○	—	—	—	—	○
浦添総合病院	○	○	○	○	○	—	—	—	—
沖縄赤十字病院	○	○	○	○	○	○	—	—	○

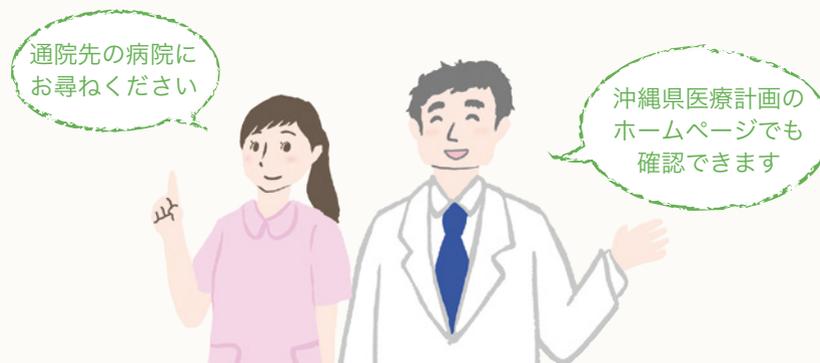
病院名	肺がん	胃がん	肝がん	大腸がん	乳がん	子宮がん	小児がん	その他のがん	放射線療法
沖縄協同病院	○	○	○	○	○	○	—	○	—
南部医療センター ・こども医療センター	○	○	○	○	○	○	○	—	○
豊見城中央病院	○	○	○	○	○	○	—	—	—
南部徳洲会病院	○	○	○	○	○	—	—	—	○
マンマ家クリニック	—	—	—	—	○	—	—	—	—
宮良クリニック	—	—	—	—	○	—	—	—	—
那覇西クリニック	—	—	—	—	○	—	—	—	—
KIN放射線治療 ・健診クリニック	—	—	—	—	—	—	—	—	○

出典：沖縄県医療計画

<http://www.pref.okinawa.jp/site/hoken/iryoseisaku/kikaku/iryoukeikaku.html>

医師の異動等に対応できるがん種や治療の範囲が変わる可能性もあります。詳しくは各病院にお問い合わせください。ここに掲載されていない内容や最新情報は、沖縄県医療計画をご覧ください。

セカンドオピニオンおよび実施施設の連絡先 → P24



(5) 離島とがん ～通院治療の選択～

■ 宮古島、石垣島以外の離島で暮らす方へ

地元の医療機関でできることが限られているため、心配も大きいと思います。しかし、いまは必要であれば、すみやかに地元の医療機関から必要な医療機関に紹介されます。特に前述した拠点病院（含む診療病院）は、医療だけでなくさまざまな相談に応じることができますので、離島の患者さんは積極的に利用することをおすすめします。

また、主な治療の終了後は、治療した医療機関だけでなく、地元の医療機関でも経過観察をすることが大切です。必ず地元の医療機関でも、がんの治療後の経過観察をしてもらうようにしましょう。

飲み薬での薬物療法（抗がん剤、ホルモン剤など）が必要なときは、地元の医療機関でも治療継続が可能です。主な治療を行った医療機関の医師に、地元の医療機関でどのように治療を継続していくかを相談してください。

■ 宮古島、石垣島で暮らす方へ

地域にはそれぞれ、診療病院の指定を受けた県立宮古病院と県立八重山病院があります。希少がん以外のがんの治療が可能ですので、がん患者の7～8割の治療を行うことができます。また、希少がんでも、主な治療を行った病院との連携により、ほとんどの場合は治療の継続や経過観察が可能です。

さらに、前項でも述べましたが、より自宅に近い医療機関での経過観察や飲み薬での治療継続が可能ながんがあります。それぞれの病院の医師に地元の医療機関でどのように経過観察、または治療を継続していくかを相談してください。

* 離島におけるがん医療については、本冊子以外に、「がん患者さんのための療養場所ガイド」があります。離島ごとの詳しい情報が記載されていますので、ご参照ください。

沖縄県 がん患者さんのための療養場所ガイド シリーズ全8巻



1

竹富町
与那国町編

2

石垣市編



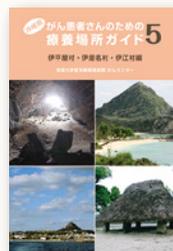
3

多良間村編



4

宮古島市編



5

伊平屋村・伊是名村
伊江村編

6

本島北部編
国頭村・大宜味村
東村・今帰仁村
本部町・名護市

7

本島周辺の離島村編
粟国村・渡名喜村
座間味村・渡嘉敷村
北大東村・南大東村

8

久米島町編